

# 東日本大震災等における被災状況・営業状況調査結果報告書

(沿岸地区生活衛生同業組合員対象)

平成 29 年 11 月末現在実施

## 目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の概要	1
II	調査結果	2
1	沿岸地区組合員の現時点（平成 29 年 11 月 30 日現在）の営業状況	2
2	沿岸地区組合員及び組合別・地域別の営業状況等	2~5
3	現在の要望・課題等	6~14
	参考資料（調査票・調査依頼先資料）	

平成 30 年 2 月

公益財団法人岩手県生活衛生営業指導センター

## I 調査の概要

### 1 調査の目的

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災の発生から、まもなく 7 年を迎えますが、この未曾有の大災害は、被災地域の住民生活及び被災組合員の営業状況に大きな影響を及ぼしている。

この調査は、沿岸地区生活衛生同業組合員の 6 年 8 ヶ月を経過しようとする現在の営業状況を明らかにし、復旧・復興状況の実態把握を行い、どのような要望、課題等があり、その声を今後の支援策検討の参考とすることを目的とする。

### 2 調査の概要

#### (1) 調査の実施者

公益財団法人岩手県生活衛生営業指導センター（以下「岩手県指導センター」という。）

#### (2) 調査の実施時期

この調査は、平成 29 年 11 月 30 日現在で、調査を実施した。

#### (3) 調査の対象

各生活衛生同業組合の沿岸地区支部及び本部所属沿岸地区組合員

#### (4) 調査の方法

この調査は、岩手県指導センターから各生活衛生同業組合を通じ、調査対象に調査票を配布し、記入する方法により実施した。

#### (5) 調査の内容

調査対象である生活衛生同業組合に所属する組合員について、支部ごとに以下の調査項目について調査した。（調査票：参考資料）

- ① 被災組合員の現時点の営業状況について
- ② 現在の声・要望・課題等について

#### (6) 調査の結果利用上の注意事項

- ① この調査は、生活衛生同業組合の各支部を対象に、生活衛生同業組合が把握している平成 29 年 11 月 30 日現在の沿岸地区組合員の状況を調査したものである。
- ② したがって、生活衛生同業組合員の被災した全ての組合員を調査対象としたものではないことに注意を要する。

#### 参考：これまでの調査の経過

第一回調査（平成 24 年 2 月）・・・全国指導センターからの委託調査

対象地区：岩手県全域

第二回調査（平成 24 年 12 月）・・・岩手県からの委託調査

対象地区：沿岸地域

第三回調査（平成 25 年 11 月）・・・岩手県からの委託調査

対象地区：沿岸地域

第四回調査（平成 26 年 11 月）・・・復興支援事業（全国指導センターからの委託）

対象地区：沿岸地域

第五回調査（平成 27 年 11 月）・・・復興支援事業（全国指導センターからの委託）

対象地区：沿岸地域

第六回調査（平成 28 年 11 月）・・・復興支援事業（岩手県からの補助事業）

対象地区：沿岸地域

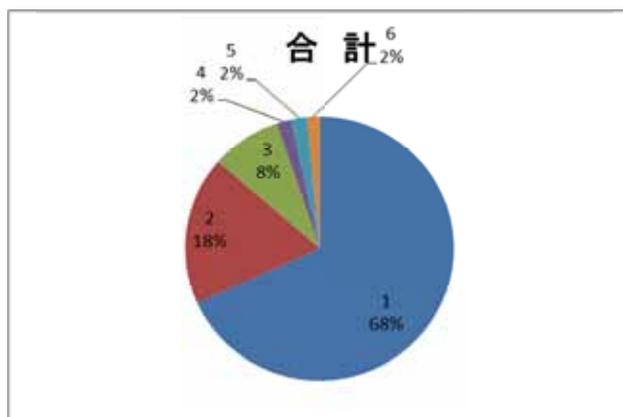
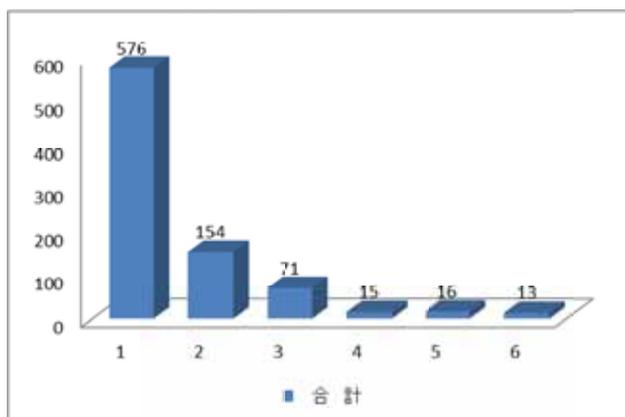
第七回調査（平成 29 年 11 月）・・・復興支援事業（岩手県からの補助事業）

対象地区：沿岸地域

## II 調査結果（沿岸地区生活衛生同業組合員対象）

### 1 沿岸地区組合員の現時点（平成 29 年 11 月 30 日現在）の営業状況

	1 現地で営業 （被災して修繕等も含む）	2被災したが、本設して営業	3仮設店舗で営業	4休業中 （営業再開の意思あり）	5廃業 （今後の見込みも含む）	6その他 （訪問営業なども含む）	調査対象組合員数
すし業	9	0	1	0	0	0	10
中華料理	49	8	3	0	0	2	62
社交飲食	0	7	8	1	1	0	17
料理業	1	4	0	0	0	0	5
飲食業	71	59	22	9	5	7	173
食肉	15	5	2	0	0	0	22
理容	161	43	18	0	2	2	226
美容業	178	27	14	2	1	0	222
興行	0	0	0	0	0	0	0
旅館ホテル	82	0	0	3	5	0	90
公衆浴場	0	0	0	0	0	0	0
クリーニング	10	1	3	0	2	2	18
<b>合計</b>	<b>576</b>	<b>154</b>	<b>71</b>	<b>15</b>	<b>16</b>	<b>13</b>	<b>845</b>
割合	68.2%	18.2%	8.4%	1.8%	1.9%	1.5%	100.0%



### 2 沿岸地区組合員及び組合別・地域別の営業状況（平成 29 年 11 月 30 日現在）

#### (1) 沿岸地区組合員の営業状況

沿岸地区組合員の平成 29 年 11 月末現在の営業状況は、「現地で営業（被災して修繕等も含む）」が 576 人（全体の 68.2%）、「被災したが、本設して営業」が 154 人（全体の 18.2%）、「**仮設店舗で営業**」が 71 人（全体の 8.4%）、「**休業中（再開の意思あり）**」が 15 人（全体の 1.8%）、「廃業（今後の見込みも含む）」が 16 人（全体の 1.9%）、「その他（訪問営業なども含む）」が 13 人（全体の 1.5%）。

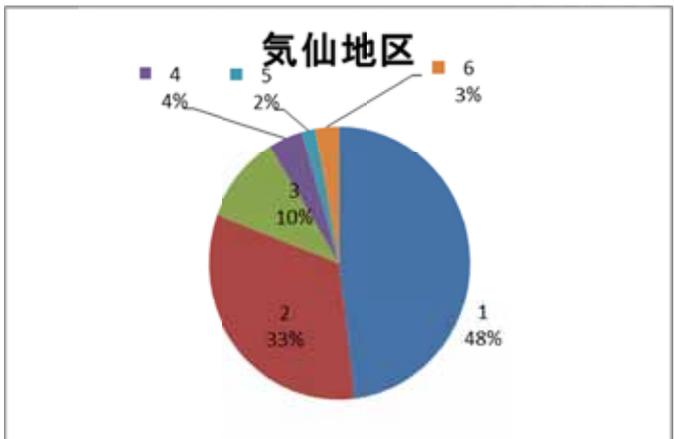
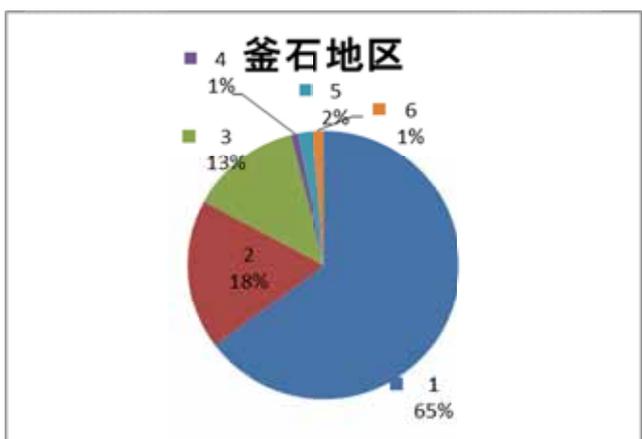
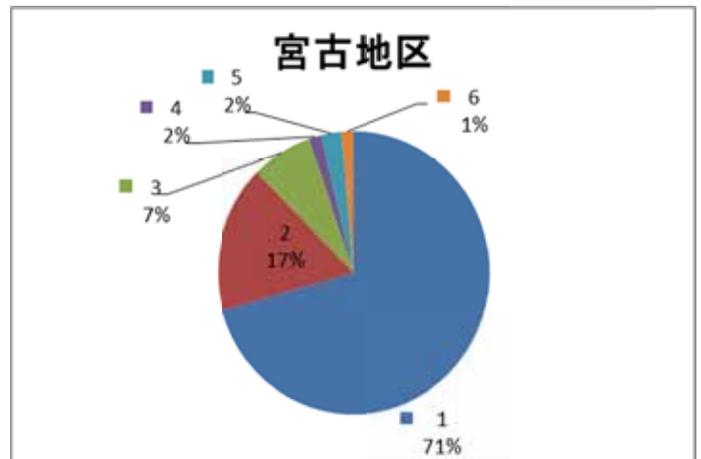
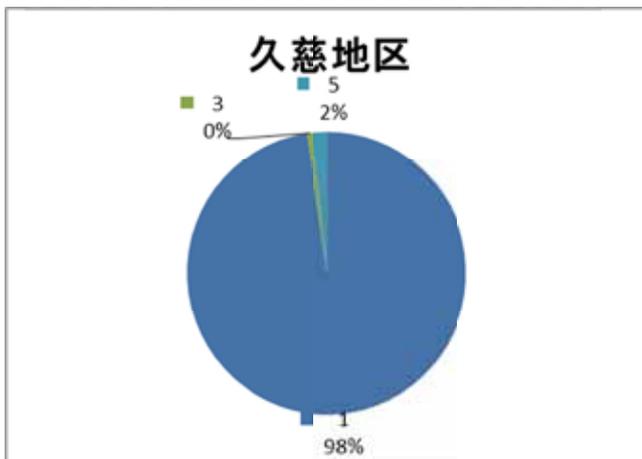
**未だに、86 店舗（全体の 10.2%）が本設再開できない状況**となっている。

## (2) 組合別の営業状況

組合別の、「仮設店舗で営業」、「休業中（再開の意思あり）」の営業状況では、『飲食業組合』が31店舗、『理容組合』が18店舗、『美容業組合』が16店舗、『社交飲食業組合』が9店舗、『中華料理組合』、『旅館ホテル組合』、『クリーニング組合』が各3店舗、『食肉組合』が2店舗、『すし業組合』が1店舗となっており、うち**飲食系店舗が46店舗、サービス系店舗40店舗**となっている。

## (3) 地域別の営業状況

	1 現地で営業 (被災して修繕等も含む)	2 被災したが、本設して営業	3 仮設店舗で営業	4 休業中 (営業再開の意思あり)	5 廃業 (今後の見込みも含む)	6 その他 (訪問営業なども含む)	調査対象組合員数
久慈地区	167	0	1	0	3	0	171
宮古地区	147	35	15	3	5	3	208
釜石地区	147	41	30	2	4	3	227
気仙地区	115	78	25	10	4	7	239
<b>合計</b>	<b>576</b>	<b>154</b>	<b>71</b>	<b>15</b>	<b>16</b>	<b>13</b>	<b>845</b>

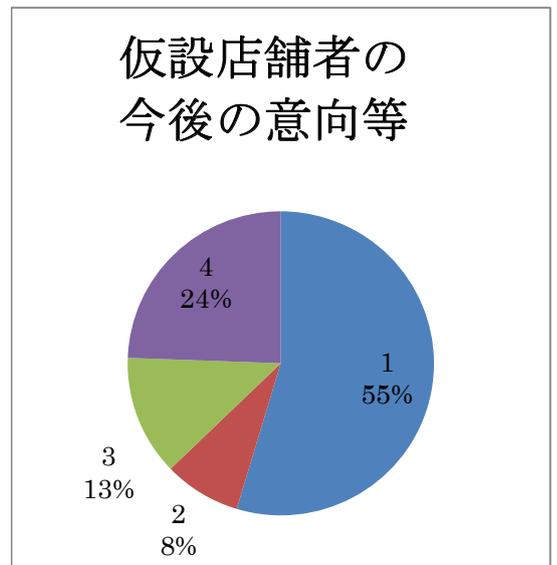


地域別の、「仮設店舗で営業」の営業状況では、次のとおり。気仙地区での『飲食業組合』が14と多い状況となっている。

- 「久慈地区」は**仮設営業1人**（理容）
- 「宮古地区」は**仮設営業15人**（中華1、飲食5、理容5、美容3、クリーニング1）
- 「釜石地区」は**仮設営業30人**（すし1、中華2、社交飲食8、飲食3、食肉1、理容7、美容8）
- 「気仙地区」は**仮設営業25人**（**飲食14**、食肉1、理容5、美容3、クリーニング2）

#### (4) 「仮設店舗で営業」等の方の今後の意向等

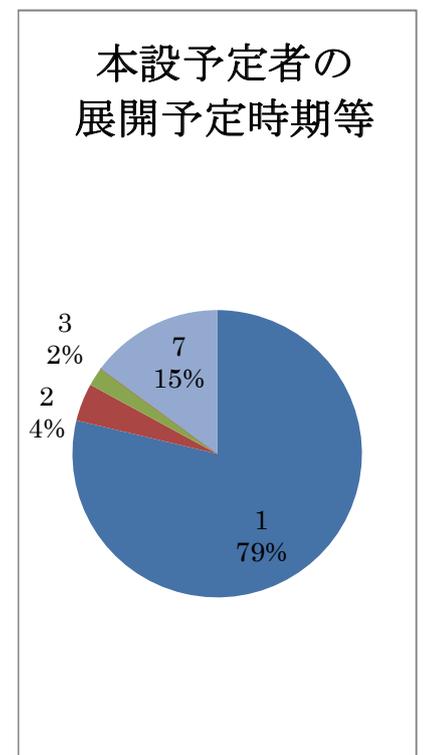
	1 本設予定	2 仮設撤去時 廃業検討	3このまま 営業	4どうしてい いかかわら ない	合 計
すし業	1	0	0	0	1
中華料理	1	1	0	1	3
社交飲食	4	3	0	2	9
料理業	0	0	0	0	0
飲食業	14	1	3	13	31
食肉	2	0	0	0	2
理容	14	1	3	0	18
美容業	10	1	3	2	16
興行	0	0	0	0	0
旅館ホテル	0	0	0	3	3
公衆浴場	0	0	0	0	0
クリーニング	1	0	2	0	3
<b>合 計</b>	<b>47</b>	<b>7</b>	<b>11</b>	<b>21</b>	<b>86</b>
割 合	54.7%	8.1%	12.8%	24.4%	100.0%



○現在、「仮設店舗で営業」、「休業中（営業意思あり）」の86人中、**54.7%が「本設予定」と回答。**ただし、「**どうしていいかわからない**」が**24.4%**、「仮設店舗撤去時に廃業検討」が、8.1%、「現状の状態で営業を継続したい」が12.8%となっている。

#### (5) 「本設予定者」の展開予定時期等

	1 平成 30 年度	2 平成 31 年度	3 平成 32 年度	4 平成 33 年度	5 平成 34 年度	6 平成 35 年度	7 時期 未定	合 計
すし業	1	0	0	0	0	0	0	1
中華料理	1	0	0	0	0	0	0	1
社交飲食	3	0	0	0	0	0	1	4
料理業	0	0	0	0	0	0	0	0
飲食業	10	1	0	0	0	0	3	14
食肉	1	0	1	0	0	0	0	2
理容	12	0	0	0	0	0	2	14
美容業	9	1	0	0	0	0	0	10
興行	0	0	0	0	0	0	0	0
旅館ホテル	0	0	0	0	0	0	0	0
公衆浴場	0	0	0	0	0	0	0	0
クリーニング	0	0	0	0	0	0	1	1
<b>合 計</b>	<b>37</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>7</b>	<b>47</b>
割 合	78.7%	4.3%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	14.9%	100.0%



○「本設予定者」47人のうち、**今後、3年で本設が40（85.1%）。「時期未定」が7（14.9%）**となっている。

## 現在、「仮設店舗で営業」等の方の市町村別一覧表

※今後、本設再開に向けた、きめ細やかな対応が必要となる店舗

2017.12.27 現在

	市町村名	仮設店舗で営業	休業中 (営業再開意思あり)	計
1	久慈市			0 (4)
2	野田村	1 理容 1		1 (1)
3	岩泉町	1 美容 1	2 旅館 2	3 (6)
4	宮古市		1 美容 1	1 (6)
5	山田町	14 中華 1、飲食 5、理容 5、美容 2、クリ 1		14 (22)
6	大槌町	8 食肉 1、理容 3、美容 4		8 (10)
7	釜石市	22 すし 1、中華 2、社交 8、飲食 3、理容 4 美容 4	2 社交 1、飲食 1	24 (44)
8	大船渡市	2 飲食 1、理容 1	8 飲食 7、美容 1	10 (38)
9	陸前高田市	23 飲食 13、食肉 1、理容 4、美容 3、クリ 2	2 飲食 1、旅館 1	25 (27)
	計	71 (132)	15 (26)	86 (158)

※ ( ) は、平成 28 年 11 月 30 日調査時点の数値

# 東日本大震災における復興支援事業の取組みと今後の方向性

## 1 被災状況と食事等支援

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災の被災状況は、岩手県全体で死者・行方不明者 6,257 人(関連死含み)、建物倒壊数 25,713 棟(平成 29 年 12 月 31 日現在)。

うち岩手県生活衛生同業組合員店舗では、死者・行方不明者 46 人、建物(店舗)倒壊数 774 棟で、被災当時の全組合店舗の約 2 割が倒壊した。

沿岸部事業者の多くが被災したため、内陸部の各地区生活衛生同業組合連絡協議会が中心となり、平成 23 年 4 月 7 日から県内の避難所が解消された同年 8 月下旬までの間、避難所や幼稚園・小中高校に対して、岩手県の要請により災害救助法に基づく食事 60 万食を提供した。

また、厚生労働省や全国指導センターの支援のもと、福興応援団「暮らし再建・なりわい再生プロジェクト」を立ち上げ、飲食系組合の炊き出し支援や、興行組合の映画上映会、社交飲食業組合のカラオケバス事業、理容・美容組合の頭・肩・腕のマッサージ提供等の被災地及び被災事業者復興支援に取り組むとともに、被災地での後継者育成支援事業(小学校、中学校、高校での出前授業)も実施してきた。

なお、平成 29 年 11 月末現在の沿岸地区組合員は 847 人。そのうち「現地で営業(修繕等含む)」が 576 人(68.0%)、「本設して営業」が 154 人(18.2%)、「仮設店舗で営業」が 73 人(8.6%)、「休業中(再開の意思あり)」が 15 人(1.8%)、「廃業(見込みも含む)」が 16 人(1.9%)、「その他(訪問営業など含む)」が 13 人(1.5%)となっている。

## 2 現状・課題

- (1) 沿岸部組合員店舗の約 1 割が本設再開に至っていない状況
- (2) 本設予定者の約 85%が今後 3 年間に本設の意向だが、約 15%が時期未定
- (3) 仮設店舗入居期限到来による店舗移転先が見つからず、経営再開に不安
- (4) 東日本大震災に加え、台風 10 号集中豪雨(平成 28 年 7 月)、台風 18 号集中豪雨(平成 29 年 9 月)、とのダブル、トリプル被災によるローン増で経営不安を訴える事業者が顕在。
- (5) 人手不足、人材確保困難、復興工事減少、顧客・売上減少による経営面の不安が顕在化。特に、旅館ホテル、飲食店での経営の先行き不安、従業員のレベルアップ、ITを活用した情報発信などの要望あり。

## 3 今後の方向性

東日本大震災から 7 年が経過し、ようやく復興・街づくりの姿が見えてきた地域もある状態。被災地の復興・街づくりには、地域住民の暮らしを支える生衛業者の再建が必要であることから、沿岸市町村等と連携し、復興・街づくりの姿が見えるまでの間(2020 年度を目途)、生衛業にかかる支援を継続し、県内生衛業の経営の健全化と衛生水準の維持確保を図る必要がある。

特にも、復興需要の低下や人口流出などによる顧客減少等の経営面での不安が顕在化している。今後、生活衛生同業組合地区連絡協議会を中心とした、消費者のニーズに対応した生活衛生業者の連携による営業振興面での対策が急務である。

震災後の炊出し支援等の経験を活かし、生衛業の振興と被災地のコミュニティの推進にも貢献してまいりたい。

【 組合別：現在の要望・課題等 】

1 すし業生活衛生同業組合

① 宮古・山田・釜石・大船渡地区組合員（支部なし）

- ・現在の街中心部の仮設店舗から2 kmほど離れた自宅を改装して本設営業の予定。街の中心部から離れた場所での営業となることから、**顧客の入りが見えず経営に不安**。

2 中華料理生活衛生同業組合

① 山田支部

- ・**スタッフの人手不足**で、顧客のオーダーに対応できず売上げが上がらない。
- ・工事関係者が減少、**夜、町が静かな日**が多くなっている。
- ・**平成30年7月末が仮設店舗での営業期限**となったことから、平成30年3月～5月頃に移転予定。

② 釜石支部

- ・建築費等が高騰、テナントの家賃も上がっている。そのため**融資を検討中**。

3 社交飲食業生活衛生同業組合

① 釜石支部

- ・後継者不足（特にスナックは、**高齢のママだと新規客がつかみにくい⇒営業不振**）
- ・大工さんの**工事が遅延**し、店舗の改装や準備ができない状況。

4 料理業生活衛生同業組合

① 宮古支部（被災後、現地で営業継続）

- ・資金繰りが一番の課題。店舗の工事も色々な課題があり進んでいない。
- ・市役所移転後の跡地の計画が進まないため、店の事もなかなか進まない。
- ・街全体では、ここ半年で4店ほど飲食店が開業。それに伴い若い人が町に出ている感じがする。

② 大槌支部（本設して営業中）

- ・震災の影響だけではないだろうが、**人手不足と売上減少のため厳しい経営状況**。
- ・現在の人手で行えるシステムやメニューの改善を日々考えている。自店で努力したい。

③ 大船渡支部

○平成29年6月に本設にて営業再開

- ・人手が集まらず従業員（パート）が**不足**。客数に波がある。
- また、店舗前の道路が未完成のため、**フリー客が少ない**。道路完成を熱望。

○平成28年12月に本設し営業再開

- ・オープン当初は利用客も多かったが、**平成29年は客数減少**。
- ・店舗は高台にあることから、イベントを開催する等、誘客に努めたい。

○本設して営業中

- ・安定して営業中。人口減少により**経営継続が気かり**。

## 5 飲食業生活衛生同業組合

### ① 久慈支部

- ・売上減少、人手不足で人材確保が困難な状況。**経営の継続に不安。**
- <台風18号の被害>
- ・床上浸水で、ストーブが破損。
  - ・平成28年の台風10号の被害で現在、厨房を工事中で休業中。

### ② 宮古支部

- ・売上減少。
- <台風18号の被害>
- ・水位30cmの浸水

### ③ 山田支部

- ・**まだ嵩上げ工事が終わっていない。どのくらい家が建つのか予想がつかない。**街づくりの全容が見えないので、なんとも言えないが、建設関係で来ている人が少なくなって、**飲食する人が明らかに減少。**
  - ・忙しい時と、暇な時の波が大きい。**経営の継続に不安。**
  - ・震災後、国道沿いのためか、ダンプ・大型トラックが通ると、店全体が揺れる。どこに相談したらよいか分からない。
- <台風18号の被害>
- ・床上浸水。製氷機が故障
  - ・支部で、3店舗浸水

### ④ 釜石支部

- ・人通りがなく、**来客が減少し震災前の顧客が戻らない。**
  - ・高齢になり、後継者もないので、新店舗に投資できるか思案している。
  - ・**パート、アルバイトが見つからない。**
  - ・**調理師を募集しても来ない。**斡旋する機関を教えてください。
  - ・震災前と同じ場所で営業した方は補助金が出たようだが、場所を移転したためか助成金がなかった。
- <台風18号の被害>
- ・床上浸水 ショーケース・冷蔵庫・冷凍庫・食器洗浄機・無煙ロースター等故障
  - ・30cm店内浸水 製氷機・冷蔵庫・ストッカー・ファンヒーター等故障。台風や大雨で冠水することが度々ある。**安心して営業できる環境が欲しい。**
  - ・只越地区の飲食店街と災害復興飲食街「**かまりば**」の被害(7店舗)が大きかった。現在、塩水管ポンプ工事中で**完成までに一年以上あり不安。**早急に対策を講じて欲しい。

### ⑤ 大船渡支部

- ・テナントでの営業再開を希望しているが、**場所が決まらず休業中。**
- ・工事関係者が居なくなった後、**経営に不安。**
- ・少子高齢化と人口減少により、利用客が激減。社会的要因の解決こそ大切。
- ・人手不足で売り上げ減少、**経営継続に不安。**

○社員教育に悩んでいる。

- ・若い社員が、友人と休みが合わないとの理由で簡単に辞める。
- ・セミナー参加を勧めても、プライドだけ高く、参加してくれない
- ・ミーティング等でも口を開かず、コミュニケーションがとれない
- ・ゆとり世代が興味を引く**セミナーを開催して欲しい。**
- ・二重債務が重くのしかかり**経営が厳しい。**

⑥ 盛支部

- ・大手資本の**飲食チェーン店の進出が脅威で、経営に不安。**
- ・飲食業は大変な時代、**店側の工夫も大切**と思っている。
- ・競争が激しく、**新メニューを増やす等、経営の工夫**を検討していきたい。
- ・人手不足。従業員確保が難しい。
- ・震災で自宅、店舗共に泥が入り、飲み物類は床に落ち壊れた。半壊、全壊には支援があったようだが、私達には何もなかった。
- ・高齢になり、いつまで**体力が続くか心配、不安。**

⑦ 陸前高田支部

- ・借入金が増え、**売上額が返済資金に追いつかない**状況。
- ・本設することを決断したが、**資金面で不安**がある。
- ・労働力が不足だが人件費の捻出も大変。気力体力がいつまで続くかと不安。
- ・本設営業後、繁忙。**交代人員を確保できず全員フルで稼働。**従業員の年齢も高く、いつまでフル稼働ができるか不安である。
- ・**アルバイト等を募集しても来ない。**家族労働で補っている。
- ・風俗営業の為、補助金が使えない。何か手立てはないのか。
- ・**本設したいが資金不足。仮設店舗の延長をお願いしたい。**
- ・人口が減少しているのに、**店舗が増えお客の取り合い**になっている。
- ・中心市街地に新しい店舗が建つと、古い仮設店舗は客足が遠のく。

6 食肉生活衛生同業組合

特になし

7 理容生活衛生同業組合

① 久慈支部

- ・本設店舗の工事を、複数の現場を請け負っている地元の大工さんに頼んだため、**工期が大幅に遅れ**、家賃の補償期限が過ぎた。平成30年1月14日開業。

② 宮古支部

- ・被災事業者の本設店舗再開に向けて取り組んでいた**4名全て平成29年中に開業**した。**今後の課題は、集客と個人の営業努力。**
- ・田老・鉾ヶ崎地区の街並みが以前のように戻らない。**人と車が少なく活気が感じられない。**

③ 山田支部

- ・1店舗土地が決まらないため、本設計画が未定。

④ 釜石支部

- ・初期に自力再建した人の不満を後々に補助金等で反映。国の対応が遅すぎる。復興計画期間が長いため、**人々の心が崩壊**した。

⑤ 気仙支部

- ・3店舗中2店舗は、現在造成中の高台（高田町中心市街地・気仙町長部地区高台）に**平成30年度造成完了後**、土地の引渡しを行い、**本設店舗としてオープン予定**。
- ・1店舗は高田町に本設としてオープンしたが、その場所が盛土造成地域となったことから、移転を余儀なくされ、現在は高田町中田地区災害公営住宅1階で**仮営業中**。造成地が引渡しになれば自宅兼店舗として、移転オープンする予定。
- ・**客数の維持が課題**。今のところ順調（今年、本設の店舗）
- ・早期の本設意向があるも、**希望する場所での土地を確保できず**途方にくれている。（被災地相談員から見て、本人の自助努力が足りない面も否めない）

8 美容業生活衛生同業組合

支部全体の課題

- ・グループ補助金、つなぎ資金の融資決定により、本設決定着工中の店舗の**本設予定が平成30年度の店舗も多くな**ってきている。

① 宮古支部

- ・介護のため休業中。先のことは未定。

② 釜石支部

- ・本設の意向だが、**移転先が見つからない**。

③ 大船渡支部

- ・仮設店舗で営業中だが土台の状態が悪い。

9 興行生活衛生同業組合

- ・なし

10 旅館ホテル生活衛生同業組合

① 岩泉支部

- ・龍泉洞の入洞数が震災前のレベルに回復しておらず、厳しい状況が続いている。
- ・営業再開に向けて様々検討中だが、**時期は未定**である。

## ② 釜石支部

- ・復興工事が減少、**宿泊施設の増等により競争激化、宿泊者が激減**。また、釜石への観光客も少ない。今後は、**観光客増に力を入れて頂きたい**。
- ・当ホテルは、東日本大震災による施設・設備等の被害は無く、震災後、復旧・復興に関わる業者の方々をはじめ宿泊者については順調に推移。一方、築 55 年経過し、**施設・設備等のメンテナンス経費が増加**。宿泊者の推移等を注視しながらホテル業に取り組んで参る。
- ・県の沿岸広域振興局、土木部から、当旅館に対して、応急仮設建築物の延長最終期限の通知が届いている。**期限は平成 30 年 3 月 31 日。旅館存続の危機**。行政に交渉し何とか期間が 1 年延長となったが、**今後どうなるかと毎日不安**である。
- ・観光による交流人口拡大で地域の活性化に寄与するよう努めているが、**宿泊業における人手・人材不足**により、地域の皆様と連携した戦略的な取り組みに対し、私達が貢献できていない状況。
- ・人口減少が今後も進んでいく中、**観光業の担い手を育てていく**ことも私達の仕事ですが、非常に厳しい状況。地元高校生に対するキャリア教育授業に参加し、宿泊業の魅力などを伝えてきたが、**今後も地域と連携し人材の育成を進めていく**ことが課題と考えている。
- ・復興需要のホテル稼働率は減少傾向。現在は、主に設備業者が宿泊。
- ・雇用について、時給が上昇しているにもかかわらず、**パートの働く意欲が低下。雇用期間も短く流動性が高い**。そのため、ある程度、稼働率をおさえて営業しているジレンマもある。

## ③ 陸前高田支部

- ・従業員の確保が大変。
- ・宿泊者数が落ち込んでいる。

## 11 公衆浴場業生活衛生同業組合

- ・なし

## 12 クリーニング生活衛生同業組合

### 支部全体の課題

- ・常設店舗を持たないため顧客へ直接配送。ガソリン代高騰等による**経費増で収益が減少**。

### ① 気仙支部

- ・仮設店舗（共同工場）で営業している組合員 2 名は陸前高田市民であるため、陸前高田市で店舗を本設意向。しかし、新市街地の復興状況が途中であるため、**店舗の本設計画が立てられない**。

《東日本大震災における被災状況・営業状況調査：（岩手県全域対象・・・平成24年2月1日現在）》

	1 現地で再開 （店舗が元々 あった場所）	2 仮設店舗で再 開（中小企業基 盤整備機構等）	3 その他の 場所で再開 （別の場所）	4 休業中 （営業再開 意思あり）	5 廃業	6 被災後 速やかに 営業継続	7 不明	調査対象 組合員数
すし業	8	1	2	1	0	95	0	107
中華料理	26	6	4	4	13	131	0	184
社交事業	17	0	0	0	3	180	0	200
料理業	8	0	1	2	0	25	0	36
飲食業	58	20	28	16	24	278	41	465
食肉	7	1	1	2	2	59	0	72
理容	69	13	44	43	21	1035	0	1225
美容業	69	16	14	42	20	969	3	1133
興行	14	0	0	0	0	13	0	27
旅館ホテル	61	0	0	21	18	228	0	328
公衆浴場業	2	0	0	1	4	18	0	25
クリーニング	2	0	3	1	7	89	0	102
<b>合計</b>	<b>341</b>	<b>57</b>	<b>97</b>	<b>133</b>	<b>112</b>	<b>3120</b>	<b>44</b>	<b>3904</b>
割合	8.7%	1.5%	2.5%	3.4%	2.9%	79.9%	1.1%	100.0%

※本資料は平成24年2月1日現在で調査し、財団法人全国生活営業指導センターに報告したものです。

《東日本大震災における被災状況・営業状況調査：（沿岸地域対象・・・平成24年12月31日現在）》

	1 現地で再開 （店舗が元々 あった場所）	2 仮設店舗で再 開（中小企業基 盤整備機構等）	3 その他の 場所で再開 （別の場所）	4 休業中 （営業再開 意思あり）	5 廃業	6 被災後 速やかに 営業継続	7 不明	調査対象 組合員数
すし業	8	1	1	1	0	4	0	15
中華料理	20	14	11	2	0	8	0	55
社交事業	0	1	0	0	2	0	0	3
料理業	1	0	2	0	0	0	2	5
飲食業	36	45	34	16	2	46	0	179
食肉	5	1	4	0	2	10	0	22
理容	46	21	40	13	0	147	0	267
美容業	33	25	21	16	37	175	3	310
興行	0	0	0	0	0	1	0	1
旅館ホテル	31	0	0	13	2	34	4	84
公衆浴場業	2	0	0	1	4	3	0	10
クリーニング	1	4	0	0	0	15	0	20
<b>合計</b>	<b>183</b>	<b>112</b>	<b>113</b>	<b>62</b>	<b>49</b>	<b>443</b>	<b>9</b>	<b>971</b>
割合	18.8%	11.5%	11.6%	6.4%	5.0%	45.6%	0.9%	100.0%

※本資料は平成24年12月31日現在で調査し、岩手県に報告したものです。

《東日本大震災における被災状況・営業状況調査：（沿岸地域対象・・・平成 25 年 11 月 30 日現在）》

	1 現地で再開 （店舗が元々 あった場所）	2 仮設店舗で再 開（中小企業基 盤整備機構等）	3 その他の場 所で再開（別 の場所）	4 休業中 （営業再開 意思あり）	5 廃業	6 被災後 速やかに 営業継続	7 不明	調査対象 組合員数
すし業	8	1	1	0	1	4	0	15
中華料理	20	13	14	2	2	8	0	59
社交飲食業	0	16	0	0	0	0	0	16
料理業	0	0	4	0	0	0	3	4
飲食業	19	49	36	4	2	40	0	153
食肉	4	2	2	1	0	12	0	21
理容	42	25	29	9	8	144	0	257
美容業	34	23	19	8	47	176	0	307
興行	0	0	0	0	0	1	0	1
旅館ホテル	25	0	5	8	4	41	0	83
公衆浴場業	0	0	0	1	5	0	0	6
クリーニング	2	3	0	0	3	12	0	20
<b>合計</b>	<b>154</b>	<b>132</b>	<b>110</b>	<b>33</b>	<b>72</b>	<b>438</b>	<b>3</b>	<b>942</b>
割合	16.3%	14.0%	11.7%	3.5%	7.6%	46.5%	0.3%	100.0%

※本資料は平成 25 年 11 月 30 日現在で調査し、岩手県に報告したものです。

《東日本大震災における被災状況・営業状況調査：（沿岸地域対象・・・平成 26 年 11 月 30 日現在）》

	1 現地で再開 （店舗が元々 あった場所）	2 仮設店舗で再 開（中小企業基 盤整備機構等）	3 その他の場 所で再開（別 の場所）	4 休業中 （営業再開 意思あり）	5 廃業	6 被災後 速やかに 営業継続	7 不明	調査対象 組合員数
すし業	8	1	1	0	0	4	0	14
中華料理	24	12	12	2	0	9	0	59
社交飲食業	0	16	0	0	0	0	0	16
料理業	0	0	4	0	0	0	0	4
飲食業	23	48	41	4	0	40	4	160
食肉	4	2	3	1	0	12	0	22
理容	36	18	20	7	0	165	0	246
美容業	36	31	15	5	0	160	0	247
興行	0	0	0	0	0	1	0	1
旅館ホテル	26	0	5	9	0	43	0	83
公衆浴場業	0	0	0	1	0	0	0	1
クリーニング	2	3	0	0	0	12	0	17
<b>合計</b>	<b>159</b>	<b>131</b>	<b>101</b>	<b>29</b>	<b>0</b>	<b>446</b>	<b>4</b>	<b>870</b>
割合	18.3%	15.1%	11.6%	3.3%	0.0%	51.3%	0.5%	100.0%

※本資料は平成 26 年 11 月 30 日現在で調査し、岩手県に報告したものです。

《東日本大震災における被災状況・営業状況調査：（沿岸地域対象・・・平成27年11月30日現在）》

	1 現地で再開 （店舗が元々 あった場所）	2 仮設店舗で再 開（中小企業基 盤整備機構等）	3 その他の場 所で再開（別 の場所）	4 休業中 （営業再開 意思あり）	5 廃業、 退会	6 被災後 速やかに 営業継続	7 本設 再開	調査対象 組合員数
すし業	4	1	0	0	4	4	1	14
中華料理	34	10	5	0	4	6	4	63
社交飲食業	0	17	0	0	0	0	0	17
料理業	1	0	3	0	0	0	1	5
飲食業	46	44	21	2	3	35	22	173
食肉	4	1	1	1	3	13	1	24
理容	40	22	13	6	7	150	8	246
美容業	34	19	6	5	13	155	17	249
興行	0	0	0	0	0	1	0	1
旅館ホテル	22	0	0	9	0	46	13	90
公衆浴場業	0	0	0	1	0	0	0	1
クリーニング	2	3	0	0	0	12	0	17
<b>合計</b>	<b>187</b>	<b>117</b>	<b>49</b>	<b>24</b>	<b>34</b>	<b>422</b>	<b>67</b>	<b>900</b>
割合	20.8%	13.0%	5.4%	2.7%	3.8%	46.9%	7.4%	100.0%

※本資料は平成27年11月30日現在で調査し、岩手県に報告したものです。

《東日本大震災における被災状況・営業状況調査：（沿岸地域対象・・・平成28年11月30日現在）》

	1 現地で営業 （被災して修善 等も含む）	2 被災した が、本設して 営業	3 仮設店舗で 営業	4 休業中 （営業再開意 思あり）	5 廃業 （今後の見込みも 含む）	6 その他 （訪問営業 なども含む）	調査対象 組合員数
すし業	8	1	1	0	0	0	10
中華料理	42	3	10	2	0	1	58
社交飲食業	0	0	16	0	1	0	17
料理業	1	3	0	1	0	0	5
飲食業	75	27	52	3	1	15	173
食肉	16	3	3	0	0	0	22
理容	179	32	24	3	3	3	244
美容業	201	3	22	4	1	1	232
興行	0	0	0	0	0	1	1
旅館ホテル	82	0	0	12	2	0	96
公衆浴場業	0	0	0	0	0	1	1
クリーニング	15	0	4	1	0	0	20
<b>合計</b>	<b>619</b>	<b>72</b>	<b>132</b>	<b>26</b>	<b>8</b>	<b>22</b>	<b>879</b>
割合	70.4%	8.2%	15.0%	3.0%	0.9%	2.5%	100.0%

※本資料は平成28年11月30日現在で調査し、岩手県に報告したものです。

# 東日本大震災等における被災状況・営業状況調査票

(公財)岩手県生活衛生営業指導センター

## 【調査票記入のお願い】

1 調査票は支部ごとに作成することとし、下線部及び枠内に回答を記入して下さい。

2 それぞれの件数は、現在組合・支部として把握している範囲で結構です。

〔調査票記入に関するお問い合わせ先〕

(公財)岩手県生活衛生営業指導センター担当：中居・佐々木

TEL：019-624-6642（9：00～16：30）

## 【基本項目：組合名、支部名、組合員数等について】

組合名：\_\_\_\_\_生活衛生同業組合

支部名：\_\_\_\_\_支部（管轄市町村：\_\_\_\_\_）

支部組合員数：\_\_\_\_\_名（平成29年11月30日時点の組合員数）

調査票記入担当者：\_\_\_\_\_（連絡先電話番号：\_\_\_\_\_）

## 1. 被災事業者の現時点の営業状況について

(1) 貴支部において組合員の現時点（平成29年11月30日現在）の店舗の営業状況についてご回答ください。

1	2	3	4	5	6	7
現地で営業 (被災して修繕 等も含む)	被災したが、本設 して営業	仮設店舗で 営業	休業中 (営業再開の 意思あり)	廃業 (今後の見 込みも含む)	その他 (訪問営業 などを含む)	
店舗	店舗	店舗	店舗	店舗	店舗	店舗

※廃業欄には、平成28年12月以降の廃業数を記載してください。

(2) 「3 仮設店舗で営業」「4 休業中」の方の、**今後の意向等に○を付してください。**

1	2	3	4	5	6	7
本設店舗での再 開を予定	仮設店舗撤去時 は 廃業を検討	現在の状態で 営業を継続し たい	どうしてい いか判ら ない			
店舗	店舗	店舗	店舗	店舗	店舗	店舗

(3) 「1 本設店舗での再開を予定」の方の、**本設予定時期等に○を付してください。**

1	2	3	4	5	6	7
平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	時期未定
店舗	店舗	店舗	店舗	店舗	店舗	店舗

## 2. 現在の課題等について

貴支部の組合員の方が、営業の再開や、営業をしていくうえで支障となっていること等について聞き取りの上記載願います。

## 1 現地再開、本設移転店舗等の課題

## 2 仮設店舗での営業、休業中店舗の課題

ご協力ありがとうございました。

- ※ **1の「現地で営業」**について  
被災したものの、修繕等を行い、店舗があった場所で営業再開した方
- ※ **2の「本設して営業」**について  
被災後に、本設再開した数を記載してください。  
(当初、プレハブや借家で再開し、その後、その状態での営業を本設とする方も含めます)
- ※ **3の「仮設店舗で営業」**について  
店舗の形状にかかわらず、仮設営業の数を記載してください。
- ※ **4の「休業中」**について  
営業再開(継続)しておらず、廃業を決めていない方(営業再開の意思はあるが再開できない方等)
- ※ **5の「廃業」**について  
平成28年12月以降に廃業した数を記載してください。
- ※ **6「その他」**について  
上記以外の状態の場合

東日本大震災等における被災状況・営業状況調査集計作業表

組合名 \_\_\_\_\_ 県 \_\_\_\_\_ 組合  
 支部名 \_\_\_\_\_ 支部 \_\_\_\_\_

組合員名	市町村名	設問1:被災営業者の営業状況について						設問2:仮設店舗で営業の方の意向等				設問3:本設展開の予定時期等													
		1 現地で営業	2 本設して営業	2 仮設店舗で営業	4 休業中	5 廃業	6 その他	1 本設再開を予定	2 仮設撤去時廃業	3 現況で営業継続	4 わからない	1 平成30年度	2 平成31年度	3 平成32年度	4 平成33年度	5 平成34年度	6 平成35年度	7 時期未定							
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4								1	2	3	4	5	6	7
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4								1	2	3	4	5	6	7
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4								1	2	3	4	5	6	7
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4								1	2	3	4	5	6	7
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4								1	2	3	4	5	6	7
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4								1	2	3	4	5	6	7
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4								1	2	3	4	5	6	7
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4								1	2	3	4	5	6	7
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4								1	2	3	4	5	6	7

東日本大震災における被災状況・営業状況調査依頼先資料（参考）

生活衛生同業組合支部一覧

支部名	すし業	中華料理	社交飲食業	料理業	飲食業	食肉	理容	美容業	公衆浴場業	旅館	クリ
大船渡		1			1			1		1	
盛高田					1					1	
気仙						1	1				1
釜石		1			1	1	1	1		1	1
大槌											
宮古		1				1	1	1		1	1
山田		1			1		1	1			
岩泉							1	1		1	
田野畑											
久慈					1	1	1	1		1	1
洋野											
野田											
普代											
合計	0	4	0	0	6	4	6	6	0	6	4
県本部	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0
総計	1	4	1	1	6	4	6	6	1	6	4
支部合計	(40支部)										

東日本大震災における被災生衛業者一覧 久慈市 2018年2月現在

※集計

コード	項目	店舗数
01	現地で営業継続	0
02	本設再開	0
03	仮設	0
04	休業中	1
05	廃業	0
06	その他	0
	合計	1

組合	営業状況	氏名	店名	住所	電話番号	最終訪問日	備考
1	旅ホ 04 休業	大尻 ヒサ	船渡旅館	久慈市長内町44-132-110	0194-52-0564		

東日本大震災における被災生衛業者一覧 野田村 2018年2月現在

※集計

コード	項目	店舗数
01	現地で営業継続	0
02	本設再開	1
03	仮設	0
04	休業中	0
05	廃業	0
06	その他	0
	合計	1

組合	営業状況	氏名	店名	住所	電話番号	最終訪問日	備考
1	理容 02 本設	畑中	理容はたなか			H29 7.10	2018.1.14店舗完成

東日本大震災における被災生衛業者一覧 田野畑村 2018年2月現在

※集計

コード	項目	店舗数
01	現地で営業継続	0
02	本設再開	0
03	仮設	0
04	休業中	1
05	廃業	0
06	その他	0
	合計	1

組合	営業状況	氏名	店名	住所	電話番号	最終訪問日	備考
1	旅ホ 04 休業	佐藤 民子	シャクナゲ	田野畑村田野畑52	0194-33-3158		

東日本大震災における被災生衛業者一覧 岩泉町

2018年2月現在

※集計

コード	項目	店舗数
01	現地で営業継続	0
02	本設再開	1
03	仮設	1
04	休業中	2
05	廃業	0
06	その他	0
	合計	4

組合	営業状況	氏名	店名	住所	電話番号	最終訪問日	備考
1	美容 03 仮設	荒川 タカ子	荒川美容室	岩泉町門字日影名目利7			台風10号被害店舗
2	旅ホ 04 休業	佐々木 潤	佐和屋旅館	岩泉町岩泉字村木61-1	0194-22-2611		
3	クリ 02 本設	小原 道彦	清水川クリーニング	岩泉町岩泉字村木48-1	0194-22-2230		本設移転済
4	旅ホ 04 休業	畠山 保男	小本温泉	岩泉町小本字下中野33-1			

東日本大震災における被災生衛業者一覧 宮古市

2018年2月現在

※集計

コード	項目	店舗数
01	現地で営業継続	0
02	本設再開	0
03	仮設	0
04	休業中	1
05	廃業	0
06	その他	0
	合計	3

組合	営業状況	氏名	店名	住所	電話番号	最終訪問日	備考
1	美容 04 休業	大下 和子	大下美容室	宮古市田老字向井山119-13 檜内仮設住宅2-10-1	0193-87-2712		訪問美容

東日本大震災における被災生衛業者一覧 山田町

2018年2月現在

※集計

コード	項目	店舗数
01	現地で営業継続	0
02	本設再開	0
03	仮設	12
04	休業中	0
05	廃業	1
06	その他	0
	合計	13

組合	営業状況	氏名	店名	住所	電話番号	最終訪問日	備考
1	中華 03 仮設	田村 文子	スナックふ〜ちゃん	山田町八幡町4-16	0193-82-6666		
2	飲食 05 廃業	福士 幸夫	あじ平	山田町八幡町3-20	0193-82-3347		
3	飲食 03 仮設	山本 茂雄	グルメハウスシンコー	山田町中央町5-4	0193-82-2306		
4	飲食 03 仮設	佐藤 明德	和背	山田町境田町3-B2	090-7330-9156		
5	飲食 03 仮設	白土 留美子	ライフル	山田町川向16D棟	090-6252-4846		
6	飲食 03 仮設	佐々木 正昭	初音	山田町長崎3-1-32	0193-82-5207		
7	理容 03 仮設	糠盛 真一	ぬかもり理容所	山田町長崎4-1-4	080-1843-7414	H29 7.11	
8	理容 03 仮設	糠盛 伸也	バロン理容所	山田町境田3 仮設店舗	090-9740-9110	H29 7.11	
9	理容 03 仮設	甲斐谷 ミヤ子	甲斐谷理容所	山田町八幡町4-1	090-5846-3547	H29 7.11	
10	理容 03 仮設	白野 優	ONE HAIR(ワンヘア)	山田町境田3 仮設店舗D-2	090-8251-5210	H29 7.11	
11	理容 03 仮設	鈴木 正次	理容はっちゃん	山田町境田20-17	080-6049-9416	H29 7.11	
12	美容 03 仮設	石崎 節子	せつ美容室	山田町境田3 仮設店舗	0193-83-3976	H26 12.02	

## 東日本大震災における被災生衛業者一覧 大槌町

2018年2月現在

※集計

コード	項目	店舗数
01	現地で営業継続	0
02	本設再開	0
03	仮設	9
04	休業中	0
05	廃業	0
06	その他	0
	合計	9

組合	営業状況	氏名	店名	住所	電話番号	最終訪問日	備考
1	食肉 03 仮設	三浦 秀次	三浦精肉店	大槌町大槌23 復興きらり商店街B棟F-1	0193-42-8688		
2	理容 03 仮設	佐藤 直子	ヘサーサロン さとう	大槌町第17地割45番46番47番 わらびっこ商店街B-2		H28 8.4	
3	理容 03 仮設	佐藤 加奈絵	ヘアサロンALWAYSさとう	大槌町安渡二丁目250-11	090-4887-8799	H29 7.11	
4	理容 03 仮設	菊池 晃総	base	大槌町大槌22-32-4		H29 7.11	
5	美容 03 仮設	柏崎 浩美	サロンDU	大槌町大槌23 復興きらり商店街D棟1号	090-7521-9931	H26 4.17	
6	美容 03 仮設	倉本 浮子	のあ	大槌町大槌23 復興きらり商店街D棟1号	090-2362-9746	H28 7.5	
7	美容 03 仮設	芳賀 亜矢子	美容室ハーツ	大槌町大槌23 復興きらり商店街	0193-82-2324		
8	美容 03 仮設	沢館 キワ	ユ一	大槌町大槌23 復興きらり商店街E棟6号	0193-42-7078	H26 12.04	
9	美容 03 仮設	平野 利美子	平野	大槌町吉里吉里9波板真心SHOP2号	0193-44-2258	H26 12.04	

## 東日本大震災における被災生衛業者一覧 釜石市

2018年2月現在

※集計

コード	項目	店舗数
01	現地で営業継続	0
02	本設再開	0
03	仮設	21
04	休業中	0
05	廃業	0
06	その他	0
	合計	21

	組合	営業状況	氏名	店名	住所	電話番号	最終 訪問日	備考
1	すし	03 仮設	遠藤 文夫	竹寿司	釜石市鈴子町14 はまゆり飲食店街			
2	中華	03 仮設	工藤 結城	トリジヤウ 鳥城	釜石市鈴子町14 はまゆり飲食店街	090-3365-5151		
3	中華	03 仮設		咲家	釜石市鈴子町14 はまゆり飲食店街			
4	社交	03 仮設	山崎 健	バーリンク	釜石市鈴子町14 はまゆり飲食店街A205	080-4429-2561	H29 2.13	
5	社交	03 仮設	山崎 公平	味処海舟	釜石市鈴子町14 はまゆり飲食店街D101	0193-22-0751		
6	社交	03 仮設	紺野 時男	釜石ラーメンこんとき	釜石市鈴子町14 はまゆり飲食店街E-101	0193-22-2991		
7	社交	03 仮設	吉田 恵美	ラピユタ	釜石市鈴子町14 はまゆり飲食店街A204	090-4631-9354		
8	社交	03 仮設	小山内ミツ子	フェニックス	釜石市鈴子町14 はまゆり飲食店街A208	0193-23-4670		
9	社交	03 仮設	佐藤 エク子	ヴィヴィアン	釜石市鈴子町14 はまゆり飲食店街B205	090-2999-4889	H28 11.16	
10	社交	03 仮設	佐藤 すゑ子	ムーンライト	釜石市鈴子町14 はまゆり飲食店街B201	090-8533-9909	H28 11.16	
11	社交	03 仮設	佐藤 美由紀	BLUEMOON	釜石市鈴子町14 はまゆり飲食店街A107	090-4523-7028		
12	飲食	03 仮設	阿部 亀寿三	洋食のあべ	釜石市大只越町1-1 青葉商店街 A103棟	0193-22-0654		
13	飲食	03 仮設	黒澤 健	鮎辰	大槌町大槌23 復興きらり商店街	013-93-55-6122		
14	理容	03 仮設	渋谷 新一	ヘアースalon渋谷	釜石市大只越町一丁目 青葉公園商店街c棟1-2	0193-24-2033	H29 7.12	
15	理容	03 仮設	橋場	ヘアースalon ハシバ	釜石市鶉住居町3-7-2 はまなす商店街A103		H29 7.12	
16	理容	03 仮設	平野 リキ子	理容ひらの	釜石市平田5地割84-5		H29 7.12	
17	理容	03 仮設	小林 誠一	小林理容所	釜石市鶉住居町16-31-8	0193-28-3254	H29 7.12	
18	美容	03 仮設	植田 リツ	リコー	釜石市箱崎町10-12-7	080-1046-4110	H26 12.04	
19	美容	03 仮設	土橋 チヨ子	チョコ美容室	釜石市鶉住居町8-36-1 神ノ沢仮設団地L棟2号	080-1670-4268		
20	美容	03 仮設	佐々木 久子	ぷらいむ	釜石市箱崎町1-24	090-5230-1150		
21	美容	03 仮設	菊池 リツ子	ビューティサロン寺前	釜石市鶉住居町3-7-2 鶉はまなす商店街A棟105号	090-8924-4841	H26 10.21	

東日本大震災における被災生衛業者一覧 大船渡市

2018年2月現在

※集計

コード	項目	店舗数
01	現地で営業継続	0
02	本設再開	0
03	仮設	5
04	休業中	7
05	廃業	0
06	その他	1
	合計	13

組合	営業状況	氏名	店名	住所	電話番号	最終訪問日	備考
1	飲食 03 仮設	村上 正和	BOSCO	大船渡市大船渡町野々田 加茂神社下 復興大船渡プレハブ横丁	0192-27-3155		
2	飲食 04 休業中	館脇 るり子	田舎料理 かあさん	大船渡市大船渡町 夢商店街	090-2994-4440		
3	飲食 03 仮設	諸岡 悠子	もつきり酒場 らんぶ亭	大船渡市大船渡町野々田19-1 大船渡屋台村	090-3121-1272		
4	飲食 04 休業中	中村 明美	Aoi	大船渡市大船渡町野々田19-1 大船渡屋台村	090-3365-0483		
5	飲食 04 休業中	村上 慎吾	濱DININGわいTable	大船渡市大船渡町野々田19-1 大船渡屋台村	0192-27-4855		
6	飲食 04 休業中	金野 恵	PUBSPACE め組	大船渡市大船渡町野々田 加茂神社下 復興大船渡プレハブ横丁	0192-26-3163		
7	飲食 03 仮設	野々村 麻子	スナックさくら	大船渡市大船渡町茶屋前63-7	0192-27-2300		
8	飲食 04 休業中	鈴木 真弓	SNACKあげは	大船渡市大船渡町茶屋前42-12	0192-27-7502	H28 10.17	
9	飲食 03 仮設	紀室 美加	Mstyle GOMA	大船渡市大船渡字野々田19-1 D101	0192-21-5377		
10	飲食 04 休業中	武田 秀規	BLUE CORN	大船渡市大船渡町野々田 加茂神社下 復興大船渡プレハブ横丁	0192-47-4488	H28 11.1	
11	理容 03 仮設	大和田 弘樹	ヘアーサロンオズ	大船渡市盛町字権現堂16-13	090-7076-0262	H29 7.20	
12	美容 06 その他	今野 陽子	モダン	大船渡市大船渡町地ノ森35-16 地ノ森仮設店舗A-5	090-5843-9693	H26 12.16	
13	美容 04 休業	佐々木美智子	マミー美容室	大船渡市大船渡町赤沢85	090-7668-6516		

## 東日本大震災における被災生衛業者一覧 陸前高田市

2018年2月現在

※集計

コード	項目	店舗数
01	現地で営業継続	0
02	本設再開	0
03	仮設	22
04	休業中	1
05	廃業	0
06	その他	0
合計		23

組合	営業状況	氏名	店名	住所	電話番号	最終訪問日	備考
1	飲食 03 仮設	佐々木 浩	れもんはーと 陸○	陸前高田市 高田町字大隅93-1 高田大隅つどいの丘商店街	0192-47-3653	H26 6.03	
2	飲食 03 仮設	村上 愛子	beach de Onikuya	陸前高田市 高田町字大隅93-1 高田大隅つどいの丘商店街	0192-47-5029		
3	飲食 03 仮設	太田 明成	カフェフードバーわいわい	陸前高田市 高田町字大隅93-1 高田大隅つどいの丘商店街	0192-47-4290		
4	飲食 03 仮設	菅沼 美津子	和風スナック竹林	陸前高田市 高田町字大隅93-1 高田大隅つどいの丘商店街	0192-54-3107		
5	飲食 03 仮設	熊谷 栄規	車屋酒場	陸前高田市竹駒町滝の里15-3	0192-54-5551		
6	6 03 仮設	照井 由紀子	ジャズタイムジョニー	陸前高田市竹駒町中の沢9	0192-54-3934		
7	飲食 03 仮設	斎藤 政英	食彩工房 海浜館	陸前高田市米崎町松峰93-1	0192-53-1567		
8	飲食 03 仮設	阿部 和明	味と人情の鶴亀鮓	陸前高田市竹駒町滝の里3-1	0192-54-2998		
9	飲食 03 仮設	蒲生 裕幸	Loop	陸前高田市高田町字大隅93-1-5	0192-55-6535		
10	飲食 03 仮設	荻島 剛寿	十五番	陸前高田市高田町字鳴石34-3	0192-55-2555		
11	飲食 03 仮設	井筒 真紀	家庭料理 井筒屋	陸前高田市竹駒町字仲の沢1-1	0192-55-34-3749		
12	飲食 03 仮設	熊谷 亮	Bricks.808	竹駒町滝の里3-1	090-7663-8430		
13	食肉 03 仮設	熊谷 益雄	日益屋 熊谷精肉店	陸前高田市米崎町字高畑94-8	0192-55-2669		
14	理容 03 仮設	柳下 正一	柳下(ヤナタ)理容所	陸前高田市高田町字西和野70-1	0192-54-3241	H29 7.20	
15	理容 03 仮設	三嶋 和子	理容みしま	陸前高田市気仙町字町46-1	090-8783-4829	H28 8.5	
16	理容 03 仮設	下村 和子	みなと理容室	陸前高田市気仙町字二日市1-10	0192-55-3607	H28 8.5	
17	理容 03 仮設	菅原 和基	ヘアサロンKAZ	陸前高田市 中田団地2号棟	0192-55-2096	H29 7.20	
18	美容 03 仮設	上野 陽子	サン	陸前高田市広田町前花貝166-7	0192-56-4144		
19	美容 03 仮設	砂田 厚美	エスポワール	陸前高田市広田町田端238-3	0192-56-3687	H28 7.12	
20	美容 03 仮設	濱守 民子	れもん	陸前高田市竹駒町相川154-23	0192-54-3028	H28 7.12	
21	クリ 03 仮設	河野 通信	高田クリーニング	陸前高田市横田町久連坪17-2 横田中学校仮設住宅11-2号	090-4636-4911		
22	クリ 03 仮設	高橋 亘	高橋ランドリー	陸前高田市高田町山苗代37-12 山苗代仮設団地1-10	090-2367-4608		
23	旅ホ 04 休業中		旅館 海楽	陸前高田市高田町字鳴石5-1 高 田第一中学校仮設13-4	0192-55-3311		

## 宮古市田老地区



店舗建設が進む市街地（2018.2.20 撮影）



高台移転先での住宅建設状況（2018.2.20 撮影）

## 山田町



山田駅が建設中（2018.2.20 撮影）



役場前から山田駅前方面の風景（2018.2.20 撮影）

## 大槌町



大槌駅前の風景（2018.2.20 撮影）



大槌駅前周辺の風景（2018.2.20 撮影）

## 釜石市鵜住居地区



鵜住居旧市街地周辺 (2018.2.20 撮影)



国道 45 号付近に「災害公営住宅」建設 (2018.2.20 撮影)

## 釜石市嬉石地区



国道 45 号付近の工事状況 (2018.2.20 撮影)



国道 45 号付近の工事状況 (2018.2.20 撮影)

## 大船渡市大船渡地区



「おおふなと夢商店街」と隣接する空き地の状況（2018.3.3 撮影）



「キャッセン大船渡」の状況（2018.3.3 撮影） 土曜日は人が多く出ていました。

# 陸前高田市



キャピタルホテル 1000 から「アバッセ高田」方面の工事状況（2018.3.3 撮影）



旧 道の駅周辺の工事状況（2018.3.3 撮影）



一本松茶屋周辺の工事状況（2018.3.3 撮影）



遠く旧 道の駅を望む地点の工事状況（2018.3.3 撮影）



「アバッセ高田」前の工事状況（2018.3.3 撮影）

災害支援協定  
参加のお店です！



災害情報・水・トイレ  
提供します

岩手県生活衛生営業指導センター  
岩手県生活衛生同業組合中央会  
岩手県生活衛生同業組合



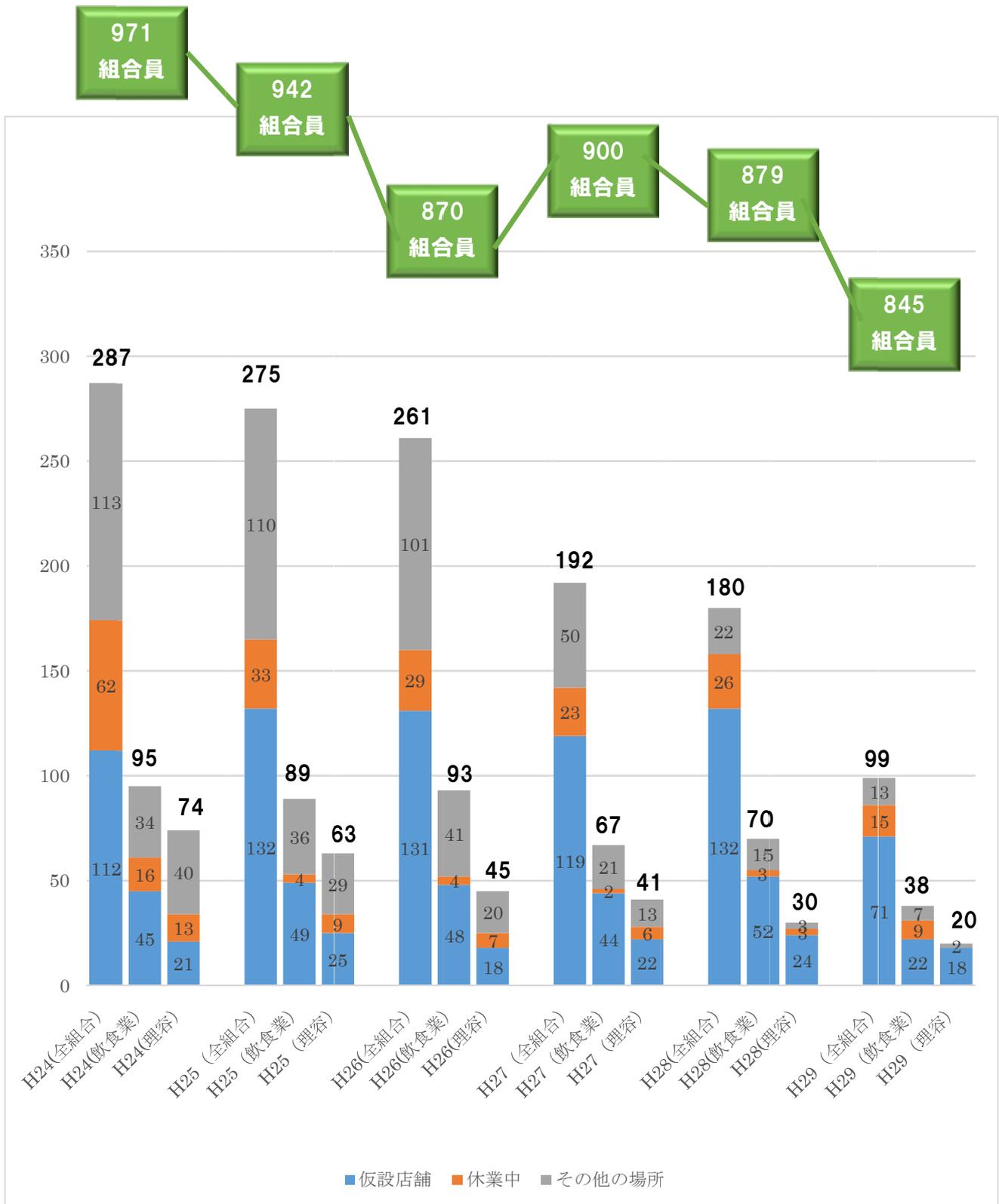
山田駅前 共同店舗で、ステッカー掲示のお店を見つけました！

# 東日本大震災営業状況調査（抜粋資料）

## 仮設店舗で営業・休業中・その他営業店舗の推移

2018.2.8

岩手県生活衛生営業指導センター



# 本県沿岸南部、来年に退去期限

東日本大震災で被災した事業者が居る本県沿岸南部の仮設店舗は2018年に相次いで退去期限を迎

# 仮設店舗 再建へ岐路



来年3月の退去期限を前に、閉店した店が目立つ呑ん兵衛横丁＝釜石市鈴子町

## 「後継者なし」「資金不足」

## 本設果たせず廃業も

釜石市内の仮設店舗134軒は、鶴住居地区など一部を除き来年3月末に退去期限が迫る。同市鈴子町の「呑ん兵衛横丁」は当初15軒が入っていたが、廃業や

市は本設の飲食店街を整備したが、立地のほか、皆でそろう移転を望まないこと、震災前からの長屋風の造りでないことなど、市と横丁側が悪い措、飲食店街の姿に差が大きく、最終的に横丁からの入居は3軒にとどまった。

出店を戻した居酒屋「恵の店主菊池隆子（88）」は「横丁の明かりがめっきり減った。何十年も一緒に仲間とそろう移転したいが、みんな高齢。どうしたらいいか、自分でもわからない」と悩む。

大槌町の仮設店舗53軒も来年9、10月が退去期限。同町小釜で菊千代酒店を営む店主佐々木繁子（70）は「年も年だし、後継者もない。半世紀以上働いて名残惜しいが、心を決めた」と、廃業する考えだ。

仮設店舗が県内最多の291軒ある陸前高田市は来年9月末が退去期限。期限

までに再建のめどが立たない事業者も多く、市は仮設店舗の払い下げや、市中心部に仮設施設を再整備して再建を希望する事業者を支援する案を検討している。

同市高田町の仮設商店街でカフェ「ドバー」を営む太田明成さん

える。後継者がいない「資金面でハードルが高い」。本設再建を目指しながら、震災から6年8カ月を経過して廃業を余儀なくされるケースも表面化。復興のハード事業は終盤を迎えているが、そこに暮らす人たちのなりの再生は大きな転換期に差し掛かっている。

（2）は、資金面で再建のハードルが高いため仮設商店街の払い下げを希望。「再建ができて今後人の動きも変わる。中心部との競合を覚悟しないといけない」と見据える。

仮設店舗の退去期限後に「廃業」「未定」とする事業者は釜石、山田、大槌の3市町の意向調査で計54に上る。県内最大規模で被災した陸前高田市は調査結果を公表せず、数字は膨らむとみられる。

岩手日報社が28日まで、沿岸12市町村を対象に、把握している最新の仮設店舗の状況を聞いたところ、入居事業者数は小売や飲食、企業の事務所など計630事業者。陸前高田市291、釜石市134、山田町102、大槌町53と続く。

退去期限は、各市町村がまちづくり計画などを基にそれぞれ設定。陸前高田市や釜石市（鶴住居など一部地区を除く）、山田町、大槌町は18年3月末、10月末に期限を迎える。

これら4市町のうち意向調査を公表している釜石、山田、大槌の3市町では、33事業者が今後について「廃業」、21事業者が「未定」と回答した。

廃業を選ぶ主な理由は、事業者の高齢化や後継者不在面もあるが、希望者には仮設の払い下げなどで対応していきたい」と横断する。

陸前高田市の村上幸司企画部長は「他の自治体に比べ仮設店舗が多く、苦慮している。高齢や後継者不在による廃業はやむを得ない面もあるが、希望者には仮設の払い下げなどで対応していきたい」と横断する。

「廃業」「未定」計54意向調査

釜石、山田、大槌意向調査

# 理容店再開「私の使命」

## 大槌の佐藤さん 仮設生活終え自宅へ



アルバムを前に、「ようやく夫の写真を直視できるようになった」と話す佐藤さん(大槌町で)

津波で夫、勝利さん(当時66歳)と自宅を失った大槌町小槌の理容師佐藤直子さん(69)にとって、仮設住宅で迎える「3・11」は最

後になる。今月下旬、自宅

のあった町中心部のかさ上げ地に住宅兼店舗が完成す

る。残っていた家族の写真などのアルバムを手に、「過

去は変えられない。でもみんなで乗り越えていける」と新たな暮らしを始める。

同町で生まれ育った佐藤さんは22歳で理容室を構え、23歳で消防士の勝利さ

んと結婚。無口な夫だったが友人が多く、「家族も大事にする人だった」。2人の子

どもを育て上げ、震災当時は夫と2人暮らしだった。

2011年3月11日、夫婦はそれぞれ家から飛び出した。夫は行方が分からな

くなり、約1か月後、遺体で見つかった。近くに住む

姉・佐々木静さん(当時82

歳)も津波に巻き込まれ、行方不明のままだ。「つらかった。悲しかった。でも生き残った娘や孫と一生懸命に生きていこうと励まし合った」と振り返る。

避難所を訪れるボランティアの頑張る姿に励まされ、自らもはさみ、バリカン、くしを手に避難所を巡り、髪を切った。11年11月、仮設商店街で営業を再開すると、常連客や震災後に出会った人たちも来てくれた。

震災から2年が経過した13年7月、流されずに残った家族の写真や震災後の写真を整理するアルバムを作り始めた。復興を伝える新聞記事や、自分を励ました言葉なども挟んでいった。

最初のページには「何事も前向きに考え 自分らし

くゆっくりでいい 生きて行こう」「希望を持ち、心の中にいるお父さんと共に生きていこう」と記した。

でも、アルバムを作っても、夫の写真を直視することはできなかった。「わつと涙があふれ出すのが分かっていったから」。それから徐々に気持ちの整理ができ、ようやく夫の写真と向き合えたし、子どもらと夫の話もできるようになった。

今月下旬に完成する自宅兼店舗で、仕事を続ける。年齢などを考えれば不安もあるが、佐藤さんは「やめるのはいつでもできるから、できるうちは頑張る。それが生き残った私の使命。もちろん、倒れない程度にね」と強い覚悟を笑顔で包んだ。

# 東日本大震災7年 岩手被災地の今



	人口・犠牲者数	仮設住宅入居者数	人口・犠牲者数	仮設住宅入居者数
<b>洋野町</b>	・人口 1万5891人 (1884人減) ・死者 0人 ・不明者 0人 ・関連死 0人	2011年10月 14人 18年1月 0	・人口 5万4608人 (4621人減) ・死者 420人 ・不明者 94人 ・関連死 55人	2011年10月 5613人 18年1月 231
<b>久慈市</b>	・人口 3万4509人 (2280人減) ・死者 2人 ・不明者 2人 ・関連死 1人	2011年10月 204人 18年1月 4	・人口 1万5307人 (3199人減) ・死者 604人 ・不明者 148人 ・関連死 83人	2011年10月 5701人 18年1月 1317
<b>野田村</b>	・人口 4007人 (599人減) ・死者 38人 ・不明者 0人 ・関連死 1人	2011年10月 777人 18年1月 0	・人口 1万1389人 (3833人減) ・死者 803人 ・不明者 422人 ・関連死 52人	2011年10月 5167人 18年1月 1444
<b>普代村</b>	・人口 2711人 (354人減) ・死者 0人 ・不明者 1人 ・関連死 0人	2011年10月 0人 18年1月 0	・人口 3万5576人 (3823人減) ・死者 888人 ・不明者 152人 ・関連死 106人	2011年10月 8540人 18年1月 2078
<b>田野畑村</b>	・人口 3361人 (477人減) ・死者 14人 ・不明者 15人 ・関連死 3人	2011年10月 488人 18年1月 0	・人口 3万6704人 (3875人減) ・死者 340人 ・不明者 79人 ・関連死 82人	2011年10月 6482人 18年1月 425
<b>岩泉町</b>	・人口 9331人 (1377人減) ・死者 7人 ・不明者 0人 ・関連死 3人	2011年10月 345人 18年1月 0	・人口 1万9082人 (4139人減) ・死者 1556人 ・不明者 203人 ・関連死 47人	2011年10月 6214人 18年1月 1372
<b>沿岸計</b>	・人口 24万2476人 (3万481人減) ・死者 4672人 ・不明者 1116人 ・関連死 433人	2011年10月 3万9545人 18年1月 6871		
<b>内陸</b>	・人口 100万8881人 (4万4825人減) ・死者 0人 ・不明者 5人 ・関連死 33人	2011年10月 3943人 18年1月 887		
<b>全県</b>	・人口 125万1357人 (7万5286人減) ・死者 4672人 ・不明者 1121人 ・関連死 466人	2011年10月 4万3738人 18年1月 7758		

※岩手県まとめ。人口は2018年2月1日現在。カッコ内の人口増減は11年3月1日との比較。死者・不明者・関連死は18年1月末現在。仮設住宅入居者数は民間住宅などの「みなし仮設住宅」も含む。2011年10月は全県の入居者数ピーク時点。ピーク時に250人は県営住宅に入居していたが、県が詳細な入居先を把握していないため市町村別、沿岸、内陸の集計に加えていない。

## 資料 1

## 平成 29 年度 生活衛生関係営業者 経営等情報交換会 『実施結果』

2017.11.8 現在

## 1 開催日・場所・出席者等

	月日	開催地	会場	備考
1	7月13日(木)	盛岡市	県美容会館	29名出席(個別相談0) (うち一般4名)
2	8月28日(月)	陸前高田市	キャピタルホテル1000	22名出席(個別相談0) (うち一般0名)
3	9月4日(月)	宮古市	宮古ホテル沢田屋	27名出席(個別相談※申込があったが0) (うち一般0名)
4	9月11日(月)	釜石市	釜石ベイシティホテル	27名出席(個別相談3) (うち一般0名)
5	9月25日(月)	大船渡市	まるしちザ・プレイス	30名出席(個別相談0) (うち一般1名)
6	10月16日(月)	久慈市	久慈グランドホテル	18名出席(個別相談0) (うち一般0名)
	合計	153名出席(生衛業120名、機関33名)(個別相談3) 生衛業内訳:すし2、中華1、 <b>社交13</b> 、料理4、 <b>飲食29</b> 、食肉1、 <b>理容41</b> 、美容9、 <b>旅館14</b> 、クリ1、 <b>一般5</b>		

## 2 開催内容(各地区共通:120分コース)

時間	内容	説明者
(30分)	情報提供: <b>当面する業界の課題等</b> (最低賃金、厚年適用促進ほか)	岩手県生活衛生営業指導センター 中居専務理事
(10分)	情報提供:(ホットな情報など)	当該商工会議所、商工会
(50分)	講演: <b>人口減少、高齢化に対応した経営の在り方</b> など	講師:(株)高橋コンサルティングオフィス 中小企業診断士 高橋雅裕
(20分)	経営お役立ち情報: <b>経営の安定化に役立つ『公庫資金』の活用方法</b> など	日本政策金融公庫各支店 (盛岡支店、一関支店、八戸支店)
(適宜)	<b>個別相談</b> (希望者のみ) ※1事業者30分程度	(相談内容により、個別に職員が対応)

## 平成 29 年度 被災生衛業者 経営強化特別支援事業(実績)

2018.3.16 現在

## 1 専門家派遣日等

	派遣日	派遣先	業種	備考
1	9月25日~26日	大船渡市	旅館ホテル	中小企業診断士派遣
2	10月11日~12日	八幡平市	旅館ホテル	中小企業診断士派遣
3	11月21日~22日	大船渡市	飲食店	中小企業診断士派遣
4	11月27日~28日	大槌町	旅館ホテル	中小企業診断士派遣
5	3月14日~15日	八幡平市	旅館ホテル	中小企業診断士派遣

## ◎各地区の復興状況

2018. 2. 6 現在

	市町村名	事項
1	久慈市	<b>台風 10 号</b> (H28 年 8 月) <b>で被災した事業者</b> ・人口減少などで売り上げは減少傾向。再建資金の返済が始まり、今後の資金繰りを懸念 (H29. 8. 23 岩手日報)
2	岩泉町	
3	宮古市	
4	山田町	平成 30 年 <b>7 月迄</b> の入居期限：町内仮設店舗 平成 30 年に仮設店舗から本設への移行ピークが想定
5	大槌町	平成 30 年 <b>10 月迄</b> の入居期限：わらびっこ商店街・復幸きらり商店街
6	釜石市	<b>仮設店舗再建へ岐路</b> <b>本県沿岸南部、来年に退去期限</b> 本設果たせず廃業も (H29. 11. 29 岩手日報) 平成 30 年 <b>3 月迄</b> の入居期限：はまゆり仮設商店街 平成 31 年 3 月迄の入居期限：鶴住居仮設店舗
7	大船渡市	「キャッセン大船渡」開業 3 ヶ月出足好調 (H29. 9. 19 岩手日報)
8	陸前高田市	平成 29 年 10 月共同店舗『まちなかテラス』オープン 平成 30 年 4 月陸前高田駅 中心部へ移転 (H29. 10. 31 岩手日報) <b>高田地区、今泉地区へ一部の区画整理は 2020 年度末終了予定</b>

※東日本大震災の被災企業の**二重ローン対策で 2021 年 2 月迄、支援期間を 3 年間延長**

※震災で住宅を再建する資金を国が支援する被災者生活再建支援金を **2019 年 4 月 10 日まで 1 年延長**する旨、岩手県が 15 日正式発表 (H29. 12. 16 岩手日報)

### 《復興支援関係》

#### 1 融資等相談状況

- (1) グループ補助金や 1/2 補助金等を活用した本設店舗建設の動きが加速。自己負担分や補助金が交付されるまでの**設備資金と“つなぎ融資”の依頼が増**。
- (2) H28 年台風 10 号、H29 年台風 18 号被害、復興工事減少等、**運転資金の融資相談**が想定。
- (3) 飲食店、旅館ホテルでの**経営の先行き不安**、従業員の確保困難、**従業員のレベルアップ、IT を活用した情報発信**などの要望あり。

#### 2 H29 東日本大震災営業状況調査（抜粋）

- (1) 売上減少、人手不足、人材確保困難、資金繰りが大変、二重債務が厳しい
- (2) 社員教育に悩んでいる (飲食 大船渡支部)
- (3) 飲食店は大変な時代、全国チェーンとの競争激化 (飲食 盛支部)